



れい わ がんねん ど ぶんかげいじゅつ

こどもいくせいそうごうじぎょう

じゅんかいこうえんじぎょう

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ていーだ

はな

太陽の花

おきなわ し さ うた おど たいこ おく
沖縄の四季を唄と踊りと太鼓で贈る



沖縄歌舞劇団

季

ちゅら

ぶんかげいじゅつ

こどもいくせいそうごうじぎょう

じゅんかいこうえんじぎょう

文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

我が国の一^{くに}流^{りゆう}の文^{ぶん}化^か艺^ぎ術^{じゅつ}團^{だん}體^{たい}が、小^{しょう}學^{がく}校^{こう}・中^{ちゆう}學^{がく}校^{こう}などにおいて公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞

する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちの実演指導、又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

おきなわ でんとうぶんか 沖縄の伝統文化を たの たいけん 楽しみながら体験しよう！

りゅうきゅうぶ よう 琉球舞踊

おきなわ りゅうきゅうおうこく よ どくりつこつか じだい おきなわ だいひょう げいのう ひと りゅうきゅう
沖縄がかつて「琉球王国」と呼ばれた一つの独立国家だった時代、沖縄を代表する芸能の一つの「琉球
ぶよう べつめい きゅうていぶよう よ とくべつ きやくじん ため そうさく
舞踊」は、別名「宮廷舞踊」とも呼ばれ、特別なお客をおもてなしする為に、創作されました。
おどりぶぎょう よ しゅり やくにん おど いしょう えんそう つね くふう はってん おこ きょう わざ
「踊奉行」と呼ばれる首里の役人は、踊りや衣装、演奏にも常に工夫と発展を行い、今までその技が
けいしょう せんれん せい どう い あで ま たみ しんじょう かいかつ ひょうげん ま しそん
継承されています。洗練された静と動を活かす艶やかな舞いに民の心情を快活に表現する舞い。自然に
めぐ おきなわどくとく あざ いしょう さんしん たいこ ねいろ ここち たの おきなわ げいのう たんのう
恵まれた沖縄独特の鮮やかな衣装と、三線・太鼓の音色は心地よく、楽しみながら沖縄の芸能をご堪能
いただけれることでしょう。

さく ひん がい よう 作品概要

こんかい りゅうきゅうおうちょうじだい げんざい けいしょう はってん おきなわでんとうげいのう だいひょうかく
今回のプログラムでは、琉球王朝時代から現在まで継承・発展された沖縄伝統芸能の代表格といえる芸
のう らんいただき
能をご覧頂きます。
はいはんち けんご きゅうていぶよう したまち りとう ぶたい う ゆうが おど しょみん せいかつ おも
廃藩置県後、宮廷舞踊から下町や離島へと舞台を移し、優雅だった踊りは、庶民の生活や想いをテーマ
みじか かくしんでき ぶよう へんか おな おうちょうじだい れきし も ごくぼうじょう やくばらい い
に身近で革新的な舞踊へと変化していきます。同じく王朝時代から歴史を持つ、五穀豊穣や厄払いの意
みあい こ えん ゆうそう ししまい きゅうほん さいしゅうび せんぞ よ おく だ ねんぶつおど
味合いを込めて演じられていた勇壮な獅子舞や、旧盆の最終日に先祖をあの世へ送り出す念仏踊りの工
ふうぼう おきなわ い かんしょう げいのう
イサーのリズムやアンガマーの風貌は沖縄に行かなければ、なかなか鑑賞することのできない芸能です。
また、沖縄民謡の他、沖縄本島でも耳にすることの少ない八重山の伝統民謡なども紹介します。
こんかい こうえん おきなわ やえ やましょとう い げいのう らんいただき おきなわ ひとびと うれ
今回の公演ではこれら沖縄・八重山諸島の生きた芸能をご覧頂きます。沖縄の人々は、嬉しいときも
かな うた おんがく こころ ささ せいしん だいひょう
悲しいときも歌や音楽を心の支えにしてきました。また、ユイマールの精神に代表されるように、お
おたが たす あ なかよく ぶん か いき
互いが助け合ったり、仲良くする文化が息づいています。

※ ユイマールとは、結いを意味する沖縄の方言です。誰もがお互いに信頼し合い
こころ ささ あ ひとりひとり ちい ちから だ あい たす あ い い み
心から支え合い一人一人の小さな力を出し合い助け合うと言う意味です。



エキサイティングオキナワ『太陽の花』プログラム

冬に出会い、春に結ばれ子供が生まれ、夏は先祖を敬い、秋には夫婦（家族）と仲間たちで実りの収穫を助け合う。そんな沖縄の人々の暮らしを、三線と太鼓、踊りと唄の調べにのせて物語を綴ります。

1 オープニング 四つ竹（古典舞踊）

祝儀舞踊の代表作。南国沖縄を象徴する赤い花、青い空と白い波をモチーフにした「花笠」をかぶり、伝統の染色技法で作られた「紅型」を身にまとい、手には4枚の竹を持ちカスタネットのように打ち鳴らしながら、歓迎の喜びを表現します。



2 出会い 加那ヨー天川

愛し合う男女の愛の印である花染めの手ぬぐいを持ち、軽快なリズムにのって恋の仕草を明るく表現した踊り。

3 結婚式～祝宴の舞～



4 誕生 生まれて來た子供へ贈る子守唄

沖縄各地に伝わる獅子舞は、中国から伝わったものと言われ、悪霊を払い、五穀豊穣と子孫繁栄を祈願します。

5 獅子舞

石垣島独特の伝行事、あの世から来たお爺さんとお婆さんをお面をかぶり演じます。



6 お盆 アンガマー

旧暦のお盆の最終日に先祖をあの世に送り出す念仏踊り。大太鼓や締め太鼓などを使い高揚感を演出します。

7 念仏踊り エイサー

生徒参加

八重山地方の民謡の中でも最高峰といわれる名曲。若い男女が互いにそれぞれ想いを伝えるラブレターのような唄です。

8 沖縄民謡 トゥバラーマ（八重山民謡）

クワやカマを手に、愉快でユーモラスな庶民の生活を再現した農耕舞踊です。



9 秋の収穫 マミドーマ

宴会や舞台の「締め」に踊る、沖縄では簡単でポピュラーな舞。



10 エンディング 力チャーシー

宴會や舞台の「締め」に踊る、沖縄では簡単でポピュラーな舞。

【開催日程】

実施月日	実施校	地元主催者
2019年6月24日 月	西脇市立日野小学校	兵庫県教育委員会／西脇市教育委員会
2019年6月25日 火	姫路市立豊富中学校	兵庫県教育委員会／姫路市教育委員会
2019年6月26日 水	たつの市立新宮小学校	兵庫県教育委員会／たつの市教育委員会
2019年6月27日 木	神戸市立長田小学校	神戸市教育委員会
2019年6月28日 金	姫路市立網干西小学校	兵庫県教育委員会／姫路市教育委員会
2019年10月21日 月	松前町立松前小学校	愛媛県／愛媛県教育委員会・松前町／松前町教育委員会
2019年10月23日 水	松山市立窪田小学校	愛媛県／愛媛県教育委員会・松山市教育委員会
2019年10月24日 木	愛南町立城辺小学校	愛媛県／愛媛県教育委員会・愛南町／愛南町教育委員会
2019年10月25日 金	丸亀市立飯山北小学校	香川県、香川県教育委員会、丸亀市、丸亀市教育委員会
2019年10月28日 月	坂出市立坂出小学校	香川県、香川県教育委員会
2019年10月29日 火	三木町立白山小学校	香川県、香川県教育委員会
2019年10月30日 水	三豊市立吉津小学校	香川県、香川県教育委員会、三豊市教育委員会
2019年10月31日 木	宝塚市立高司中学校	兵庫県教育委員会／宝塚市教育委員会



1998年設立。

華麗さと力強さを兼ね備えたプロフェッショナルな歌舞劇団として、出身・性別・流派を超えて、選び抜かれたメンバーで構成される。琉球舞踊の継承を重んじ、伝統を生かした数多くの作品を創作しており、結成20年間で38カ国・72都市での文化庁海外派遣公演を成功させる。また、日本全国の小・中・高等学校での学校公演、および一般公演を精力的に行い、国指定重要無形文化財である琉球舞踊の普及と創作活動に邁進する。

し
知つてますか？

がつ ついたち こくさいおんがく ひ
10月1日は国際音楽の日です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。